

とちぎ未来共創コンセプト・パートナーシップ(TCP)の概要

- 教育改革にあたり、各拠点における企業、大学・研究機関等との継続的な連携を推進する体制として「とちぎ未来共創コンセプト・パートナーシップ(TCP)」を新たに構築する。
- TCPに参画するパートナー企業等は、人的・物的・金銭的支援に加え、実社会での経験の場の提供、技術支援、共同研究等を通して、各拠点校の教育活動を継続的に支援する。さらに、TCPを核として産学官金等の外部者と県・学校が一体となって取り組むことで、取組全体の推進を加速し、オール栃木による推進体制の実現を図る。
- 事業期間中は、別添仕様書(案)のとおり外部専門人材を活用し、TCPの運営、事業全体の進捗管理、事務局と関係者間の調整を担う。あわせて、事業完了年度までに、全県立学校がTCPの枠組みを活用し、産学官金連携による教育活動を展開できる体制を整える。

栃木県高等学校教育改革実行計画策定・推進体制

実行計画

県議会	総合教育会議(連携) 知事、教育長、教育委員	懇談会(意見聴取) 構成員：県内有識者、研究者、産業経済界関係者など 役割：計画の策定や方向性に関する助言、拠点校取組の効果検証や進捗管理	産業関係団体(意見聴取・連携) ・産業教育審議会 ・産業教育振興会 ・経済団体 等	子どもの意見聴取 パブリックコメント
-----	---------------------------	---	--	---------------------------

◎高等学校教育改革推進本部

構成員：知事、副知事、教育長、県警本部長、各部局長

L 幹事会

構成員：各部局総務主幹 等

L 検討部会

構成員：教育委員会事務局各課、知事部局関係各課、産業界関係者、大学関係者



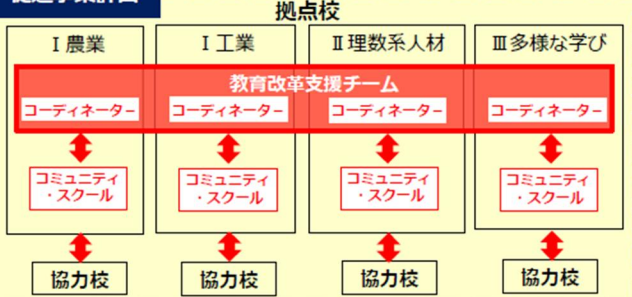
※事務局：教育委員会(教育政策課、高校教育課)

N-E.X.T 事業推進体制(R8~R10)

とちぎ未来共創コンセプト・パートナーシップ(TCP)

学校と共にとちぎの未来を創る人材を育成していく志ある企業等がパートナーとして参画し、産学官金が継続的に連携する人材育成体制を構築することで、県全体で人を育てる機運の醸成を図るとともに、本県企業等への愛着の創出を推進する。

促進事業計画



※R10までに全県立学校がTCPの枠組を活用して産学官金連携の教育活動が展開できる体制を整える。

プロデューサー

- ・事務局との調整及びコーディネーターの取りまとめ
- ・TCPの立ち上げ支援、自走できる体制づくり
- ・拠点校改革ビジョンを踏まえた企業等のTCPへの参画促進及び参画促進のための企業等のシーズとニーズ把握
- ・産学官金連携の連携メニューの整備・拡張
- ・TCPパートナー企業への継続的なコミュニケーション及び会議開催
- ・成果普及等のためのイベント開催

教育改革支援チーム

- 【コーディネーター①：教育改革支援】
 - ・プロデューサーと連携し、各拠点校の教育改革全体の伴走支援と教員研修
 - ・TCPを通じた産学官金連携コーディネート
 - ・協力校との学校間連携の推進
 - ・自走に向けた体制作り(コミュニティ・スクールの活用と教員業務負担の軽減)
- 【コーディネーター②：次世代デジタル活用支援】
 - ・各拠点校の次世代デジタル活用に向けた改革の伴走支援
 - ・各校の改革ビジョンを踏まえた、教員へのデジタル理解促進および技術研修、生徒向け研修の実施
 - ・幼小中との連携、産学官金連携促進